

## 抄録原稿作成要領

著者	北海道医療大学歯学会
雑誌名	北海道医療大学歯学雑誌
巻	29
号	1
発行年	2010-06-30
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1145/00006455/">http://id.nii.ac.jp/1145/00006455/</a>

## 北海道医療大学歯学会抄録原稿作成要領

B5版の用紙を用い、タテ19cm・ヨコ13cmに納まるようにパソコンを使って作成して下さい。文字は明朝体で12ポイントを使用して下さい。

なお、抄録は以下の例に従って記載して下さい。

1. 演題名
2. 発表者氏名：演者の前に○印をつけて下さい。
3. 所属：発表者の所属が2つ以上の場合は、アスタリスク（\*）で所属を区別して下さい。
4. 本文：一般発表の場合は【目的】、【方法】、【結果および考察】、【結論】の順で、症例発表の場合は【目的】、【症例】、【結果および考察】あるいは【経過および考察】の順で記載して下さい。

### フッ素徐放性PRG含有テンポラリーセメントの物性

○館山元一\*，柳 智哉\*\*，遠藤一彦\*\*，大野弘機\*\*，越智守生\*

\*北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野，\*\*北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系生体材料工学分野

【目的】 口腔インプラントの上部構造の……………

【方法】 実験には(株)松風より供給を受けた……………

【結果および考察】 試作セメントの標準粉液比は，……………

【結論】 フッ素徐放性PRG含有テンポラリーセメントは，……………